



千代田区立九段小学校

学校通信

第365号

令和8年4月30日発行

〒102-0075 千代田区

三番町16番地

TEL. 3263-0564

FAX. 3288-3418



「決まりだから」のその先へ

副校長 田中 美智子

校庭の木々が鮮やかな緑を湛え、さわやかな風が心地よい季節となりました。入学・進級した喜びと緊張の中過ごした1か月でしたが、子どもは徐々に新しい学年や学級の生活に慣れ、活気ある声が校舎に響いています。

令和8年3月28日(土)に東郷元帥記念公園のオープニングセレモニーが行われました。子どもにとっても、地域にとっても待望のオープンとなりました。千代田区では、2025年に「千代田区公園づくり基本方針」を改訂し、千代田区の公園が全ての人々にとって、身近で安心できる場所になってほしいという願いのもと、公園づくりを進めています。そこには、区民が満足して活用していくためには、公園を利用する人自身がルールを守り、他の人を尊重し思いやる「規範意識」が大切だと書かれています。

私たちは、問題が起きると「禁止」という解決策を選びがちです。しかし、それでは「なぜそのルールが必要だったのか」という本質的な問いが置き去りにされてしまいます。学校生活には多くのルールがあります。一つ一つのルールは、本校教職員が、子どもが安心・安全に学校生活を送るために必要であると考え、設定しています。しかし、「先生に叱られるから守る」、あるいは、「先生が『もうやめなさい』と言うからやめる」といった受動的な姿勢は、真の意味での規範意識とは呼べません。規範意識は、法やきまりの意義を理解し、自律的に行動することであると考えると、この「自律的」という点を大切にしていく必要があります。

規範意識の根底にあるのは、他者への「想像力」です。自分一人がよければよいという考えでは、結果としてコミュニティを破壊し、巡り巡って自分自身の自由を奪うことにつながります。学校が示したルールを守ることはもちろんですが、児童の皆さんが主体となり、「私たちの学級と学校は、私たちが守り、よりよくしていく」という自治の精神をもってほしいと願っています。社会に出れば、正解のない問いに溢れています。そこでは、自分の行動は自分で決めることが求められます。「どうすれば、誰もが嫌な思いをせずに過ごすことができるだろうか。」「みんなで楽しく過ごすために、自分たちで考えるべきことは何だろうか。」、そうした問いを立てることが、よりよいコミュニティをつくることになるでしょう。

5月11日(月)から本校では、中休みや昼休みに東郷元帥記念公園で遊ぶ取組を始めます。公共施設を仲よく安全に使う事を経験しながら、規範意識を育てます。子どもが、自らの良心に基づいて、ルールやマナー、人との関わりを考え抜いたその先に、誰もが幸福を実感できる社会の姿があります。教職員一同、全力でその歩みを支えてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、本校の教育活動へのご理解と、子どもたちへの温かい見守りと励ましをお願いいたします。

◇ 5月の行事予定

日	曜日	行事	AD・SC
1	金	聴力検査(2年)	
2	土		
3	日	憲法記念日	
4	月	みどりの日	
5	火	こどもの日	
6	水	振替休日	
7	木	フレンズタイム(朝) 4時間授業 尿検査2次①	
8	金	尿検査2次②【予備日】安全指導日 聴力検査(2年) B1時程 コーディネーショントレーニング(4年)	
9	土		
10	日		
11	月	全校朝会 クラブ活動② 区達成度調査(2,3年) 日光事前検診(6年) 内科検診(4~6年)	SC
12	火	区達成度調査(4~6年) 内科検診(1~3年)	SC
13	水	日光移動教室始①(6年) B2時程	
14	木	日光移動教室始②(6年)	SC
15	金	日光移動教室始③(6年)	
16	土		
17	日		
18	月	全校朝会	SC
19	火	コーディネーショントレーニング(3年) 歯科検診(4~6年)	巡回 AD (ことば)
20	水	B1時程 耳鼻科検診(4~6年)	
21	木	音楽朝会 歯科検診(1~3年)	SC
22	金	水道キャラバン(4年) 図工校外学習(4年)	巡回 AD
23	土		
24	日		
25	月	全校朝会 委員会活動③ 避難訓練	
26	火	生活科見学(2年)	SC
27	水	B2時程 耳鼻科検診(1~3年)	巡回 AD
28	木	お誕生給食 大妻女子大学ブックソムリエ(1~3年)	SC
29	金	A時程 離任式(2~6年)	
30	土		
31	日		

*行事予定は変更になる場合があります

ホームページは2次元コード、またはキーワードで検索を

<https://www.10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310162>

たくさんさんの「はじめて」

第1学年

4月7日に入学した1年生は、入学からまもなく1か月を迎えました。学校生活の中で、子どもは多くの「はじめて」を経験しながら、日々成長しています。

ランドセルから荷物を出したりしまったりすること、連絡帳や書類を担任に提出すること、教科書やノートを自分で用意することなど、入学当初は6年生に手伝ってもらっていたことも、少しずつ自分たちでできるようになってきました。

生活科の学習では、「小学校でできるようになったこと」について考えました。その中で、保育園や幼稚園での経験が、小学校生活の中でも生かされていることに気付く姿が見られました。はじめてのことが多い毎日ですが、これまでの経験をもとに、自分でできる喜びや楽しさを感じながら学習に取り組んでいます。

本校の特別支援教育について

特別支援教育コーディネーター

子どもが安心して充実した学校生活を送れるよう、本校では多様なサポート体制を整えています。特別支援教育講師、特別支援教育専門員、スクールライフサポーター、支援員が子どもに寄り添い、指導や支援にあたっています。ステップ九段教室では、5名の巡回指導教員と特別支援教室専門員が自立活動に基づく指導や教室運営を行っています。相談室では2名のスクールカウンセラーが子どもや保護者の方の心の声を聴いています。また、定期的に來校する3名の発達支援アドバイザーからはよりよい手立てなどの助言を受けることができます。年間を通して、もし子どものことで気になることがありましたら、気軽に担任または特別支援教育コーディネーターにご相談ください。子ども1人1人に合った支援を共に考えていきます。

九段小 トップ 

